

科目名	宗教と人間（釈尊と現代） D					単位	2.0
担当教員	玉井 威						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4203

●授業のテーマ

ゴータマ・ブッダ（釈尊）の思想を通して現代の問題を考える。

●到達目標

釈尊の思想を理解する。そして、それを通して現代の諸問題を考える視点を身につける。

●学習内容(授業概要)

歴史的人格としてのゴータマ・ブッダ（釈尊）の生涯と思想を講義する。言うまでもなく、仏教には思想的発展と地域的展開の長い歴史があるが、この時間はその最初期の仏教（原始仏教）を扱う。原始仏教は一般に日本人の知っている仏教とはおよそ姿・形が違う。最初から特定の価値観、先入観にとらわれなくて、まずは価値判断から自由であること（Wertfreiheit）が肝要である。

昏迷する社会にあって、釈尊の思想がいかに現代の問題を考える指針となりうるのか、この点をつねに念頭に置きながら授業を進めたい。また可能な限り、キリスト教など他の宗教と比較する視点を持ちたいと思う。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. はじめに
2. 宗教とは何か（宗教の定義）
3. 「宗教」「religion」の語義
4. 宗教の分類
5. 時代的背景（1）（バラモン教）
6. 時代的背景（2）（六師外道）
7. 原始仏教の基本的立場
8. ブッダの生涯（1）誕生から成道まで
9. ブッダの生涯（2）成道から入滅まで
10. ブッダの思想（1）無常
11. ブッダの思想（2）苦
12. ブッダの思想（3）無我
13. ブッダの思想（4）縁起
14. ブッダの思想（5）慈悲
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前にテキストを読み、疑問点を書き出しておく。事後には講義された内容を確認する。

●成績評価方法・基準

学期末試験の成績で9割、平常点で1割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：ブッダの旅、著者名：丸山 勇、出版社：岩波書店、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

授業時に指示。

●履修上の注意

受身の受講態度ではなく、主体的に学ぶこと。質問は歓迎。私語は厳禁。